

森

森小学校だより

平成30年5月1日

学校だより NO.2

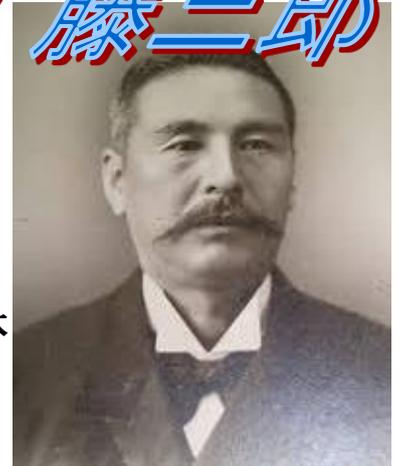


The King of Sugar!

藤三郎

森小の教育目標は「一心に学ぶ子」です。「一心」に取り組めば、小さな「成功」が一つ生まれます。日々の小さな成功が積み重なって大きな成功につながるのです。強い意志であきらめなければ、必ず自分の目標に一步一步近づくことができます。

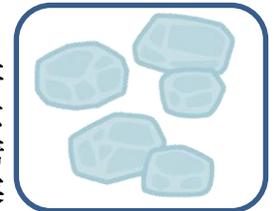
私たちが愛するふるさと森町には、一つのことによって夢中になって、持ち前の研究心と努力により、明治大正の近代日本産業の先駆者となった偉大な人がいます。砂糖王、発明王、産業革命の父と讃えられた「鈴木藤三郎」を知っているでしょうか。



藤三郎は、江戸時代終わり 1855 年、本町の古着商太田家の末っ子として生まれました。幼いころの名は才助。4 才で仲町の貧しい菓子商鈴木家の養子となりました。勉強好きで 7 才から寺子屋に通いました。成績も良く、寺子屋のお師匠様からかわいがられましたが、「商人に学問は必要ない」と、11 才で寺子屋を下ろされ菓子屋の家業を手伝いました。餡を煮たり餡を練ったり、朝早くからわらじをはいて山坂越えて菓子を一軒一軒売り歩き、夜、月が出てから家に帰る毎日でした。まさに砂糖の中で精を出して働いて育ったのです。

人生の転機が訪れたのは、21 才。報徳の教えに出会い、「人間の尊さは人のために尽くそうとする真心にある。どんな仕事についているかではなく、誠実に働く心をもっていかである」と考えるようになりました。昼は家業に精を出し、夜は勉学に勤しむことを決意しました。「文明開化の世の中でろくに文字も知らぬ無学では時代の潮流から取り残されてしまう。」夜学で一心に学んで、報徳の教えを実践し、人一倍働き、無駄を省き、しっかりした経営計画を立てて 5 年後には、菓子屋の売り上げをなんと 10 倍にしたのです。同時に、当時貴重だった氷砂糖を、「真っ白に透き通るように作りたい。」と、氷砂糖の研究を志しました。

研究を初めて苦節 7 年。なかなか成果は上がりませんでしたが、ひよんな事から氷砂糖の製造法を発見するのです。実験用の氷砂糖製造容器をかまどで煮詰め続けていたときのこと。藤三郎は、「十数日間家を留守にするので、氷砂糖をしっかりと見ておくように。」と、家の人に言いつけ出かけました。しかし、実験中の氷砂糖製造容器は、炊きっぱなしのかまどの上で、誰に蓋を開けられることもなく置きっぱなしにされていました。がっかりしながら蓋を開けると、何ということでしょう。水晶のように美しい氷砂糖が輝いているではありませんか。藤三郎は、このとき偶然にも「密閉して高温を一定に保ちじっくり結晶させる」という氷砂糖製造の原理を発見したのです。



品質や生産量を向上のため、さらに実験が続きます。夏真っ盛りの 8 月に 2 週間も味噌部屋に閉じこもり、かまどをぼうぼう炊き続け、汗だくになりながら結晶の出来方を研究したのです。こうして、命がけで百発百中の氷砂糖製造方法を発明しました。これは、生涯 159 件もの特許を取得した「発明王」藤三郎の第一歩であり、日本産業近代化の道を開いた「砂糖王」の人生を決定づけた重大事でありました。藤三郎自身、最も苦しみながらやり通した発明と振り返っています。

その後、33 才で森町から東京に進出し、国家に有用な産業となる砂糖精製の研究を進めました。自分の手で自由に機械を製作するために鉄工所も作りました。40 才で、日本精製糖株式会社を設立し、日本で初めて、近代的工場ですべてを大量生産するまでになります。半年後には、製糖業視察と最新の機械を購入するために、アメリカやヨーロッパへ 11 か月にわたる大旅行に出発します。そして、名実ともに日本の砂糖王と内外に認められるようになりました。さらにサトウキビの生産地台湾で、台湾製糖株式会社の初代社長に就き、砂糖づくり一筋に大成功を収め、日本の国家社会に大きな利益をもたらす貢献しました。

森町を愛し続けた藤三郎は、51 才で、仲町の資産家福川泉吾と共に私財を投じて「周智農林学校」を創立しました。現在の遠江総合高校です。「森町の人々の豊かな暮らしには、農業の改良発展が必要である。子供に農業教育を受けさせ、農業の本当のおもしろさを理解させたい。そして、農業を地域に根ざ

したい。」と、森町の発展を願い青少年の育成に尽くしました。

砂糖から始まり、塩、醤油、魚加工と、日本の近代産業を次々と興し、日本の近代化発展に貢献した「産業革命の父」鈴木藤三郎は、時代の何百歩も先を走り続けた偉人です。「小を積んで大を成す」「世のため人のため」に一心に努力した姿は、私たちの誇りとして語り継いでいきたいと思うのです。

皆さんも自らの夢をめざし、一心に生きていってほしいと願います。 <5月8日会礼校長の話>

～4月の学校生活から～

Let's enjoy English!!

今年度から3,4年生の外国語活動が始まりました。(週1時間)5,6年生は、昨年度までよりも外国語の時間が1時間多くなり、週2時間となりました。

ALT(外国語指導助手: Assistant Language Teacher)は今年から「Linda Seohee Hwang(リンダ シャオヒィ ホワン)先生(通称:リンダ先生)が子供たちと楽しく元気いっぱいの学習活動を行っています。リンダ先生は、火曜日、木曜日と金曜日の午前に森小を訪れてくれます。積極的にコミュニケーションをとって、楽しく学習できるといいですね。



森小の仲間入り～1年生を迎える会

4月20日(金)1年生を迎える会が行われました。「5つの合言葉」を学年ごとにクイズにして伝えたり、全員で歌を歌ったりして、全校が心一つにして1年生の仲間入りを祝う会となりました。

1年生からもお礼の言葉と元気いっぱいの校歌のお返しがありました。
【1年生～元気いっぱいの校歌】



お知らせ 通級指導教室「 」が開設されました!

本年度から森小学校に通級指導教室が開設されました。昨年度末から開設準備を進めていましたが施設等も整い、いよいよ開設となりました。通級指導教室は、日常生活の中で特定の学習だけが苦手、集団の中で指示がうまく通らない、友達や家族とトラブルになることが多いなど、何らかの暮らしにくさを抱える児童が個別に指導を受ける教室で南校舎2階に設置されました。

指導は2人の職員が担当します。どうぞよろしくお願ひします。



【非常勤講師】
かとう ひろこ
加藤 弘子



【教育支援員】
やまだ ひろし
山田 廣

5月の主な行事			18	金	委員会活動 Sタイム ALT 来校日
7	月	B4 家庭訪問④ 校納金振替日	21	月	Sタイム
8	火	全校会礼 自転車練 ALT 来校日	22	火	B6 ALT 来校日 リレー大会 自転車練習
9	水	森っ子ペア遠足予備日 図書ボランティア	23	水	B4日課 下校 13:15 英語活動 2年 森町一貫教育の日
10	木	ペア清掃開始 代表委員会(昼休み) 自転車練習	24	木	さわやかトーク ALT 来校日 プール清掃
11	金	B4 ALT 来校日	25	金	Sタイム クラブ活動 自転車練習 ALT 来校日
14	月	A5 Sタイム SC、SSW来校 内科検診(5・6年)	28	月	A5 月例テスト週間(2年生以上) Sタイム 自転車練習 SC、SSW来校
15	火	交通教室②1年③5年④3年 ALT 来校日 内科検診(3・4年)自転車練習	29	火	全校会礼 課外(運音) 自転車練習 リレー大会予備日 ALT 来校日
16	水	Sタイム 読み聞かせ 集団下校	30	水	Sタイム
17	木	内科検診(1・2年) 自転車練習 ALT	31	木	B5 課外(運音) 尿検査予備 ALT 来校日

*Sタイム: 1~4年(スイッチオン: DVDによる短時間英語学習) 5,6年(スタディタイム: ドリル学習)
SC(スクールカウンセラー) SSW(スクールソーシャルワーカー)